# 第５学年１組　国語科学習指導案

日　時　令和５年１１月２２日(水)　５校時
児　童　５年1組　　１９名
授業者　佐々木　祐

１　単元名　　物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう
　　教材名　　「たずねびと」朽木　祥　作（「国語　五　銀河」光村図書）

２　単元について

・本単元では、物語の全体像を捉えたうえで自分の考えをまとめ、それを交流することによって自分の考えをさらに広げる学習をする。登場人物の前に現れるものや人が登場人物に与えた変化を考えさせたり、場面をつなげて読むことを振り返ったりしながら、物語の全体像を捉えさせたい。また、物語を通しての人物の変化や学習を通しての自身の変化についてまとめ、それらを交流することで自分の考えを広げさせたい。
・児童は、１学期「なまえつけてよ」の学習で、描写を基に登場人物の相互関係を読み取る学習をした。登場人物の心情や言葉だけでなく、行動や情景などの間接的な表現に着目して読んだことで、登場人物同士の関わりや変化を捉えることができるようになってきた。しかし、自分の考えをもったり、表現したりすることはできるが、根拠をもって話すことや、友達との対話を通して考えを深めたりすることは依然として苦手である。
・授業者は、話型を示したり、対話で使ってほしい言葉を示したりして、児童が進んで考えを話したり深めたりできるように指導したい。また、多数派に流れないような根拠のもたせ方、話合い方、まとめ方にも留意したい。単元を通して学習意欲が持続するように、とりかかる発問で見通しをもたせ、ゆさぶる発問で再度考えさせ、自分の中での考えを確かなものにさせたい。

３　単元の目標

| 〔知識及び技能〕 | 〔思考力，判断力，表現力〕 | 〔学びに向かう力，人間性等〕 |
|---|---|---|
| ①語句の構成について理解し、語彙を豊かにすることができる。また語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。<br>（1）オ | ①文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。<br>C（1）カ<br>②人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。<br>C (1) エ | ①言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができる。 |

４　単元の「課題解決的な言語活動」
　読み取りを通して考えたことをもとに、題名についてグループで伝え合う活動。（関連：言語活動例イ）

５　単元の評価規準

| 知識及び技能 | 思考，判断，表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ①語句の構成について理解し、語彙を豊かにしている。また語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。<br>（1）オ | ①「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。<br>C（1）カ<br>②「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。<br>C (1) エ | ①積極的に、表現の効果を基に物語の全体を想像し、今までの学習を生かして、登場人物と自分について考えたことを友達に伝えている。 |

6　指導と評価の計画（全８時間）

<table>
<tr><th></th><th>主な学習活動</th><th>指導上の留意点</th><th>評価</th></tr>
<tr><td>1<br>・<br>2</td><td>○題名の「たずねる」の意味を国語辞典で調べる。<br>○初発の感想と「尋ねる」「訪ねる」について考えを書く。<br>○単元課題とゴールを確認し、学習計画を立てる。<br>○物語の全体を捉えるのに必要なものを考える。<br>場所　時間　登場人物<br>登場人物の変化<br>広島　戦争　原爆について<br>○教科書の分からない言葉を調べたり、動画や画像を使って補足したりする。</td><td>・内容に迫るために、「たずねる」には『尋ねる(聞く、質問する)』と『訪ねる(場所を訪れる)』の意味があることを確認し、どちらの漢字が適切か考えるよう指示する。<br>・読みの視点を与えるために、物語中に訪ねた場所と出会ったものに綾が尋ねたことに着目するよう指示する。<br>・単元の見通しをもつために、単元の最後に物語を通しての綾の変化(全体像)と学習を通しての自分の考えの変化を書くことを確認する。<br>・物語の全体像を捉えるために、どんなことを読んでいくのかを考え、学習計画を立てる。<br>・学習を深めるために、戦争の時代背景や被爆地について確認する。</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>○物語の設定を捉える。<br>場所<br>時間<br>出会ったもの、人<br>綾の心情</td><td>・大まかな内容を捉えるために、ワークシートにまとめ、設定を確認する。</td><td>【知・技①】<br>物語文の設定を捉え、綾が出会ったものと心情が結び付く表現を理解しているかの確認。<br>（ワークシート・発言）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4<br>・<br>5<br>・<br>6</td><td>○綾の行動、会話、心情から広島に行くまでの戦争、広島についての気持ちや思いの理由を考える。<br>○綾の行動、会話、心情から戦争や広島への気持ちの変化の理由を考える。<br>○帰り道での綾の様子、情景から綾の変化について考え、まとめる。</td><td>・綾が戦争や広島についての知識がないことや広島について知りたいという気持ちを捉えるために「だろう。」や「かな。」などの文末に着目するよう指示する。<br>・対話で深めた考えを基に、綾はどうして知りたいという気持ちになったのか考えるよう指示する。<br>・綾の戦争や広島への思いの深まりを捉えるために、広島で出会ったものにどんなことを尋ね、どんなことを感じ取ったのか考えるよう指示する。<br>・原爆が大きく広島を変えてしまったことやそれを感じる綾の様子を考えるために、「ような」や「になりそう」などの比喩表現に着目することを確認する。<br>・綾が出会ったものの中で戦争や広島に対する考えを変えたのは何だったのかダイヤモンドチャートで考え、理由を交流する場を設ける。<br>・綾は広島を訪れ、多くのものと出会ったことでどんな考えの変化があったのかを情景から考えるよう指示する。</td><td>【思・判・表・表②】<br>綾の行動、会話、心情から様子を捉えているかの確認。<br>（発言・ノート）<br>【思・判・表・表②】<br>物語を通しての綾の変化から物語の全体について想像しているかの確認。<br>（発言・ノート）</td></tr>
<tr><td colspan="3">書く条件　①広島に行く前の綾　②広島に行った綾　③綾を大きく変えたもの、人　④理由</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>【学習に取り組む態度】<br>表現の効果を基に物語全体を想像し、自分の考えの変化を友達に伝えているかの確認。<br>（発言・ノート）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">7<br>・<br>8<br>（本時）</td><td>○再度、「たずねる」についての考えを書く。<br>○初発の「たずねる」についての考えと比較する。</td><td>・「たずねる」の二つの意味を振り返り、どちらの漢字が適切か理由と共に考えるよう指示する。<br>・考えの深まりを自覚できるよう、初発の感想と比較する場を設ける。<br>・書くことが難しい児童用にヒントカードを用意する。</td><td>【知・技①】<br>学習したことを基に、初発の感想と比べながら考えを書いているかの確認。<br>（ワークシート）</td></tr>
<tr><td colspan="3">書く条件　①初発の考え　②今の考え　③変わった(深まった)きっかけ、理由</td></tr>
<tr><td>○友達の考えを比較しながら交流する。</td><td>・多くの考えに触れさせるためにグループを編成する。<br>・ワークシートに書いた考えを共有できるよう、交流する際はロイロノートを活用する。<br>・自分との類似点や相違点を整理し、考えを書くよう指示する。</td><td>【思・判・表・表①】<br>書いた文章を基に交流し、友達の考えを聞き、考えを広げているかの確認<br>（発言・ワークシート）</td></tr>
<tr><td colspan="3">書く条件　①友達との類似点、相違点、よい点　②交流しての考えの広がり、変化</td></tr>
<tr><td>○学習を振り返り、単元のまとめを行う。</td><td>・自分の考えを広げるためにどんな学習をしたのか、考えを広げるよさは何なのかを振り返り、単元のまとめをする。</td><td></td></tr>
</table>

7　本時の指導（８／８）

（１）本時の目標

書いたことを伝え合い、考えを広げることができる。

（２）展開（４５分）

<table>
<tr><th>段階</th><th>学習活動</th><th>・指導上の留意点【視点に関わって】◇評価</th></tr>
<tr><td rowspan="3">導<br>入<br><br>５<br>分</td><td>１　前時までの学習を想起し、交流する理由を考える。<br><br>２　学習課題を把握する。</td><td>・前時では、自分で考えをまとめたことを振り返る。今回は交流することを確認し、何のために交流するのかを問い、交流する理由を意識付ける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">書いたことを交流して、考えを広げよう。</td></tr>
<tr><td>３　課題解決のための見通しをもつ。<br>・友達の考えを聞くときにどんなことに気を付けて聞くかを考える。<br>〇同じところ<br>〇違うところ<br>〇よいと思ったところ</td><td>【視点１ア：文章解釈のための発問の吟味「とりかかる発問」】<br>自分の考えを広げるために、「友達の考えの何に注目して聞くとよいか。」と発問し、友達の考えを聞くための観点を考えさせる。また、考えを広げるための交流であることを確認する。<br>・国語キーリングをヒントとして活用する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">展<br>開<br><br>３０<br>分</td><td>４　課題を解決する。<br>（１）グループ学習（３分×４）<br>①ロイロノートで書いたことを見ながら発表を聞く。<br>②同じところ、違うところに線を引く。<br>③質疑応答する。<br><br>（２）個人学習（５分）<br>・グループ学習を終えた後に、交流したことからどんなことを感じ取ったのか考え、文を付け加える。</td><td>【視点２　考えを積み上げる対話】<br>考えを聞いた後に、類似点や相違点を確認し、その後質疑応答という流れを確認する。よいところを挙げたり、「なんで」「どうして」などお話・対話カードの言葉を使ったりさせ、考えを広げることができるようにする。答えるときや理由を話すときは、教科書の叙述を基に話すことを確認する。<br>・児童が比較しながら聞くことができているか確かめ、考えを整理することができるように、一人の発表が終わるごとに、類似点は赤、相違点は青で線を引きながら発表を聞くことを確認する。<br><br>【視点１イ：文章解釈のための発問の吟味「ゆさぶる発問」】<br>「交流を通して新しい気付きはあったか。」と問うことで、自分の考えの内容と比較させ、新しい考えに気付いたり、類似点、相違点を見つけたりすることができるようにする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">書く条件　①友達との類似点、相違点、よいところ　②考えの広がり、変化、感想</td></tr>
<tr><td colspan="2">・わたしは、友達と「訪ねる」の漢字は同じだったけれど、理由が違いました。〇〇さんは「訪ねる」にした理由を綾がアヤを探すからと書いていました。〇〇さんの考えを聞いて、確かに綾はポスターで見つけたアヤを探しに広島に行ったので確かにそれもよいと思いました。<br>・わたしは、友達と「尋ねる」の漢字が同じでした。しかし、〇〇さんは綾がいろいろなものと出会いながら変化したことを言っていて、なるほどと思いました。</td></tr>
<tr><td>（３）全体学習<br>・考えたことを発表し、考えをさらに広げる。<br>尋ね人→・綾がいろいろなものと出会い、そのものからいろいろなことを感じていたから。<br><br>訪ね人→・綾が広島を訪問したから。<br>・綾がアヤを探す物語だったから。</td><td>・「尋ねる」と「訪ねる」の両方の考えを認めながら、根拠が分かるように板書する。<br>・両方の視点から考えさせることで、教科書を改めて読み返したり、細かな描写に気付いたりできるようにする。<br>・交流のよさなどの記述にも触れ、考えを広めるための方法やその後の変化についても価値付ける。<br><br>◇交流を通して、<u>友達との類似点や相違点を明らかにし、考えを広げたり、友達の考えのよさをまとめたりしているか</u>の確認。<br>〔発言・ワークシート〕</td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| 終末<br><br>１０分 | ５　単元の学習を振り返る。<br>・単元を通して、<br>①何を学ぶために<br>②どのように学び<br>③何ができるようになったのかを一文にまとめる。 | ・３つの関わりが分かりやすくなるように分類してまとめる。<br>・３つの視点①何を学んだのか、②どのように学んだのか、③何ができるようになったのか、を学習の流れに沿って振り返ることで自身の学びを自覚できるようにする。<br>・書くことができない児童には、これまでのノートやワークシート、振り返りなどを確認するように指示し、どんなことをどうやって学び、どんな力がついたのかを確認する。。<br>・これからの学習で使えそうな言葉がでてきた時には、国語キーリングに追加する。 |
| | ・わたしは、綾の変化をとらえるために、綾が出会ったものや人を探し、ダイヤモンドチャートにまとめて順位を付けました。その結果、綾が大きく変わった瞬間を探すことができました。<br>・わたしは、題名のひみつを考えるために、題名を漢字にして、その理由を考えました。その結果、題名にこめられた思いが分かりました。 | |

８　板書計画

たずねびと　　朽木　祥　作

課　書いたことを交流して、考えを広げよう。

見　交流のポイント　同じところ　違うところ　よいと思ったところ

全　尋ね人
・綾がいろいろなものと出会い、そのものからいろいろなことを感じていたから

訪ね人
・綾が広島を訪問したから
・綾がアヤを探す物語だったから

交流を通して
・自分では思いつかない考えを聞くことができた。
・自分の考えがよりよいものになった。

単元のふりかえり

③何ができるようになったのか。
・題名について考える
・登場人物の変化
・全体像
・考えを広げる

②どのように学んだのか。
・登場人物の変化を追う
・出会ったものを探す
・順位をつける

①何を学んだのか
・綾の変化の様子
・全体像
・題名

９　本時の授業改善の視点

**【視点１ア：文章解釈のための発問の吟味「とりかかる発問」】**

本時の目標は「友達と書いたことを伝え合い、考えを広げることができる。」である。学習課題を設定した後に、交流の際のポイントを児童と確認する。思い浮かばない児童やうまく言葉にできない児童には国語キーリングを使わせ、全員が交流においての聞く観点を確認することで見通しをもたせたい。

**【視点２：考えを積み上げる対話】**

考えを聞いたあと類似点、相違点を確認し、その後質疑応答という流れを確認する。「なんで」「どうして」などのお話・対話カードの言葉を使うように指示し、考えを広めさせたい。また、質問に答える時や理由を話す時は、教科書の叙述を基に話すことを確認し、叙述を根拠とした対話となるようにする。

**【視点１イ：文章解釈のための発問の吟味「ゆさぶる発問」】**

本時で扱うゆさぶりは、児童が友達との考えを比較し、自身で考えを再構築するためのものとする。そこで、「交流を通して新しい気付きはあったか。」と問い、対話を通して様々な考えと出会い、本当に自分の考えは正しいのか考え直したり、友達の考えのよさに気付いたり、考えを取り入れて変化させたりと自身の考えを見直すきっかけとしたい。